

発覚！ ものみの塔 マインドコントロールを指示!?

親の押しつけか

偽り: エホバの証人である親は、自分の信仰を子どもに押しつけている。

真実: エホバの証人である親は、神への愛を子どもに教え込むよう努力する。聖書でそう命じられているからである。(エフェソス6:4) とはいえ、子どもは大人になったら宗教を自分で選択するものだ、ということも承知している。—ローマ14:12。ガラテア6:5。

これは、「ものみの塔 2012年2月1日号「幸福な家庭の鍵—思春期の子供が親の宗教に疑問を抱くとき」という記事の部分コピーですが、誰かにこう尋ねられた時のレクチャーとなっています。

「神への愛を教え込むよう努力する」と命じられているとして、その根拠として挙げているのがエフェソス6:4ですが、この聖句は「子ども、神への愛を教え込むように」と命じてなどいません。

「また、父たちよ、あなた方の子供をいら立たせることなく、エホバの懲らしめと精神の規整とをもって育ててゆきなさい。」(エフェソス6:4 新世界訳)

この訳の後半の「精神の規整とをもって」に注目してください。

精神=マインド です。 規整=コントロールです。

新世界訳はそのままストレートに マインドコントロールを使って子供を育てなさいと訳しています。

これは単なる誤訳ではなく、意図的な誤導訳のひとつであり、エホバの証人はそうした多くの誤導を悟道として感謝して受け入れています。

(マインドコントロール: 自分の感情を制御すること。また、他人らの心を自分の意のままに操ること。例えば、宗教などが独自の手段によって信者の人格・精神を変革・統制すること。)

新世界訳のこの句の参照にはこう書かれています。

「精神の規整とを」。字義、「(エホバの) 思いを入れることとを」。

しかし、この「思いを入れること」というのが「精神の規整とを」と訳している部分の字義訳というなら、あからさまな虚偽とさえ言えるでしょう。

下のコピーをご覧ください。

in order that	well	to you	it might occur	and	th
ἕσθῃ	μακροχρόνιος	ἐπὶ τῆς γῆς.	4	Καὶ	fa
you will be	long-timed	upon the earth.		And	ir
οἱ πατέρες,	μὴ	παροργίζετε	τὰ		di
the fathers,	not	be you provoking to wrath	the		in
τέκνα ὑμῶν,	ἀλλὰ	ἐκτρέφετε	αὐτὰ		di
children of you,	but	be you nourishing out	them		re
ἐν παιδείᾳ	καὶ	νοουθεσίᾳ	Κυρίου.		va
in discipline and	putting	mind in	of Lord.		
5	Οἱ δούλοι.	ὑπακούετε	τοῖς	κατὰ	oi

これが「懲らしめ」と訳されている部分の脚注なら分かります。

その部分のギリシャ語は(オレンジ丸囲み)「ノーセスィーア」であり、この語は「ノース」(mind 心)という語と「ティセミ」(lay, place, set 位置、場所、セット)という意味の語か

らなっているからです。

この語は、「教えによって警告する」という意味であると理解され、通常「警告、注意、助言」などの語に翻訳されます。新世界訳はここでは、「懲らしめ」と訳しています。

では「精神の規制」と訳している部分のギリシャ語はどのようなものかというところ、前ページのコピーからも分かるように、意味のある単語は原語では次の2つだけです。

ギリ語：エクトゥレペーテ（最初の赤丸囲み）意味：成熟まで持って来るため、養うため

ギリ語：パイデーア（二つ目の赤丸囲み）意味：訓練、指示、養育

それで、普通に字義通りに訳すと、「父たち、子供を怒らせてはならない。主の警告と訓練の中で成熟まで持って来なさい（養いなさい）」という意味です。

そして、ごくごく当たり前のことを述べているだけで、ことさらに特別なことは何も述べていません。例として下に示した新共同訳を始めほとんどの訳は同様の訳し方をしています。

「父親たち、子供を怒らせてはなりません。主がしつけ諭されるように、育てなさい。」（6:4）

ここで、警告や訓練の必要性と共に、そのことが、「怒らせないように」、つまり子供の心（精神）に十分な考慮を払うようにと言う諭しと対応させて語られています。

人の「精神」を「規制」するようなことなどは以ての外で、それは主のみ心では決してありません。それは、「組織」の思いを置くために指示されている方法です。

さて、冒頭の「親の押しつけか」の後半の部分に関してですが、「大人になったら自分で選択するものだ、ということを知っている」。誰が？

これは、質問に対するものみの塔の回答なので、承知しているのは、「組織」ということでしょう。しかし、この文章には、意図的にその後の言葉が省かれていると考えて良いでしょう。

「…組織はそれを承知している。」「しかし、承認はしていない。」